

II 組織運営

2005年度は、全国公募にご応募いただいた方々の中から、事務局長を選任し「創成期」から「成長期」への移行をするべく、新たな事業の具体化を目指して事務局はスタートした。また、役員改選により県内外から有力な人材に理事として就任いただき、これにより、ミッションに基づく各種事業の展開を図ることを目指した。しかし、事務局長の辞任にともない、計画変更を余儀なくされた。それにともない、拡大常務理事会を開催し、常務理事、理事、評議委員、スタッフが参加して目的と事業の現状から、将来への構想を確認する場を持った。このことから、理事会のあり方や事務局との関係について深く考えられたことには大きな意味があった。

1 会員管理

- (1) 会員：333個人・団体（2004年度）→ 333個人・団体（2005年度）
333個人・団体＝ 正会員44 + 情報団体144 + 情報個人140 + 賛助
5
- (2) 会員データ管理：Accessを用いてデータを管理。会員登録情報（Accessデータ管理ソフトによる個別情報の入力、MLリストへの登録、エクスパダイト（FAX送信システム）への登録等）。
- (3) 会員情報の確認：会費納入の通知と同時に、会員情報の更新データを確認。新たな個人情報保護への対応を検討。

2 理事会の開催

- ・常務理事会 全5回開催 長野県NPOセンターにて開催
- ・理事会 全3回開催
理事会と事業及びスタッフとのあり方等を検討 6月、10月、2月
- ・拡大常務理事会（「将来構想づくり」会議） 全2回開催
「将来構想づくり」の必要性とスケジュール、手順の検討 12月、2月